

〈解答〉

① (1) 20cm (2)  $\frac{11}{3}\pi$  cm

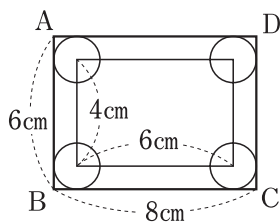
② (1) ア AC イ 斜辺と1つの鋭角 ウ ABC エ ADC (2)  $\frac{24}{7}$  cm

配点 ②(1)各1点, 他各2点 10点満点

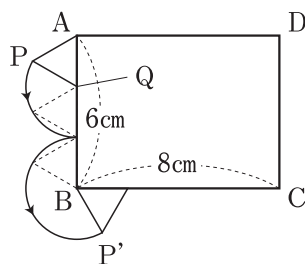
〈解説〉

①

(1) 右の図のように、円の中心は  
 縦…  $6 - 2 \times 1 = 4$  [cm]  
 横…  $8 - 2 \times 1 = 6$  [cm]  
 の長方形の周上を移動するので、その長さは  
 $4 \times 2 + 6 \times 2 = 20$  [cm]  
 である。



(2) 右の図のように、点Pは、最初は点Qを中心として $120^\circ$ 回転移動するので、移動する長さは



$$2 \times \pi \times 2 \times \frac{120^\circ}{360^\circ}$$

$$= \frac{4}{3}\pi \text{ [cm]}$$

で、次に長方形の頂点Bを中心として $210^\circ$ 回転移動するので、移動する長さは

$$2 \times \pi \times 2 \times \frac{210^\circ}{360^\circ} = \frac{7}{3}\pi \text{ [cm]}$$

したがって、

$$\frac{4}{3}\pi + \frac{7}{3}\pi = \frac{11}{3}\pi \text{ [cm]}$$

である。

②

(1) [証明]

$\triangle ACE$ と $\triangle ACF$ において、

仮定より、 $\angle EAC = \angle FAC$  …①

$\angle AEC = \angle AFC = 90^\circ$  …②

共通な辺なので、 $\overline{AC} = \overline{AC}$  …③

①, ②, ③より、直角三角形の イ 斜辺と1つの鋭角 がそれぞれ等しいので、  
 $\triangle ACE \equiv \triangle ACF$

対応する辺なので、 $CE = CF$  …④

AB, ADを底辺と見なすと、④より高さが等しいので、

$$(\triangle \text{ウ } ABC \text{ の面積}) : (\triangle \text{エ } ADC \text{ の面積}) = AB : AD \quad \dots \text{⑤}$$

また、BC, DCを底辺と見なしても高さが等しいので、

$$(\triangle \text{ウ } ABC \text{ の面積}) : (\triangle \text{エ } ADC \text{ の面積}) = BC : DC \quad \dots \text{⑥}$$

⑤, ⑥より、 $AB : AD = BC : DC$

(2) (1)より、 $AB : AD = BC : DC$ なので、

$$AB = AD \times \frac{BC}{DC}$$

$$= 6 \times \frac{4}{3}$$

$$= 8 \text{ [cm]}$$

したがって、

$$\triangle ABD = \frac{1}{2} \times 6 \times 8$$

$$= 24 \text{ [cm}^2\text{]}$$

となるので、

$$\triangle ABC = \triangle ABD \times \frac{4}{4+3}$$

$$= 24 \times \frac{4}{7}$$

$$= \frac{96}{7} \text{ [cm}^2\text{]}$$

$\triangle ABC$ の底辺をAB, 高さをCEとすると、

$$\triangle ABC = \frac{1}{2} \times AB \times CE$$

より、

$$\frac{96}{7} = \frac{1}{2} \times 8 \times CE$$

これを解いて、

$$CE = \frac{24}{7} \text{ [cm]}$$

右の図のように、 $\triangle ACE$ は、

$$\angle AEC = 90^\circ$$

$$\angle EAC = 90^\circ \div 2$$

$$= 45^\circ$$

より、直角二等辺三角形なので、

$$AE = CE$$

$$= \frac{24}{7} \text{ [cm]}$$

